

みょうが(花穂) 病虫害防除暦

JA庄内たがわ

防除体系(登録薬剤)

令和8年(2026年)版 2025.12.10時点の農薬登録情報で作成

防除時期	対象病虫害(雑草)	RACコード	登録農薬名	希釈倍数・使用量	散布液量	使用時期	使用回数	備考	
生育期	殺菌剤	根茎腐敗病	F:11 F:4	ユニフォーム粒剤	18kg/10a	—	収穫30日前まで	2回以内	土壌表面散布
		紋枯病・葉枯病	F:M05	ダコニール1000	1000倍	100~300 ℓ/10a	〃 14日前 〃	4回以内	散布
		根茎腐敗病	F:21	ランマンフロアブル	500倍	3ℓ/1m ²	〃 3日前 〃	3回以内	土壌灌注
		根茎腐敗病	F:21	オラクル顆粒水和剤	2000倍	3ℓ/1m ²	〃 3日前 〃	3回以内	土壌灌注
		紋枯病	F:11	アミスター20フロアブル	2000倍	3ℓ/1m ²	〃 3日前 〃	2回以内	土壌灌注
	殺虫剤	コナカイガラムシ類	I:4A	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	100~300 ℓ/10a	〃 前日 〃	3回以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。
萌芽前(除草剤)	一年生雑草	H:10	ザクサ液剤	300~500ml/10a	100~150 ℓ/10a	収穫14日前まで (雑草生育期萌芽前又は畦間処理)	2回以内	雑草茎葉散布	

留意事項

- ・使用時期の「収穫前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。
- ・病虫害の発生状況等を見て散布してください。
- ・適正な栽培密度とし通風・作業性を良くしてください。
- ・園地の適切な排水管理に努めてください。
- ・飛散防止にドリフト軽減ノズルや防薬ネットを使用してください。

除草剤について(ザクサ液剤)

- ・みょうがの萌芽後の畦間処理は収穫14日前まで可能ですが、薬害を生ずるおそれがあるのでなるべく避けてください。